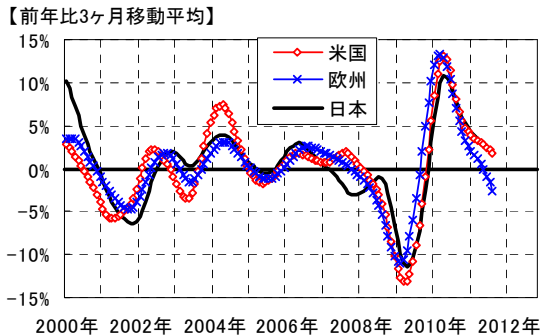
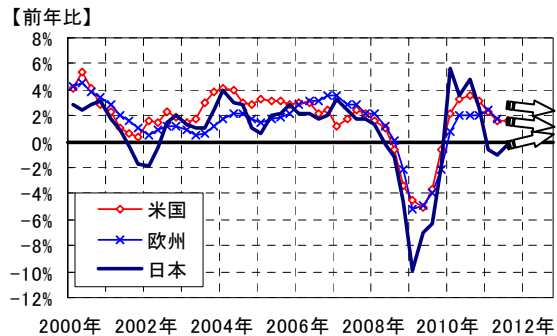


景気先行指数 (OECD発表)

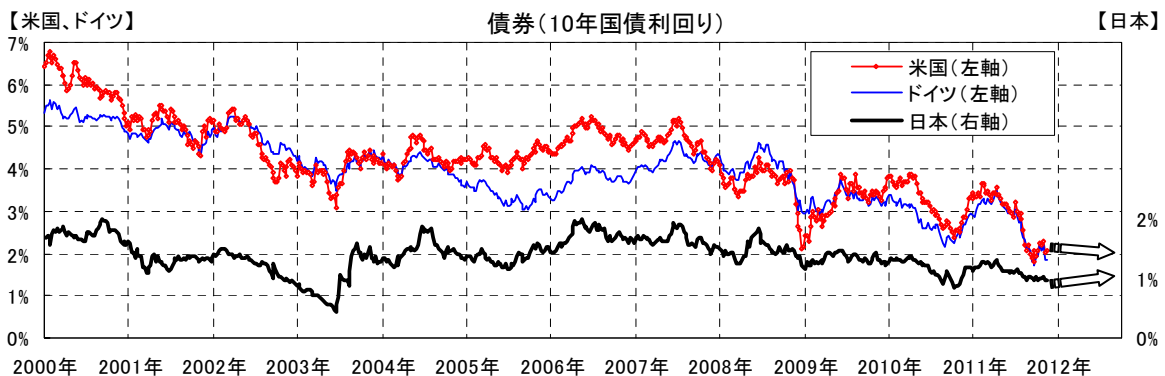


実質GDP



<世界経済の見通し>

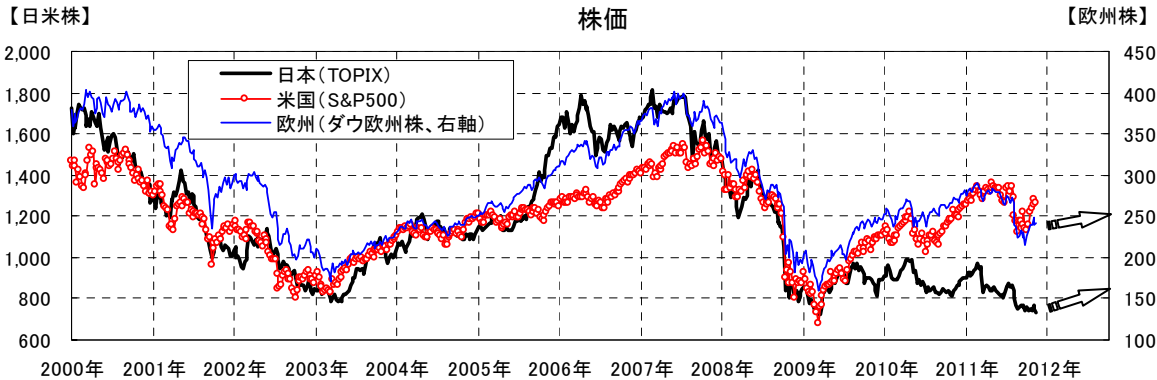
- 国内経済: 新興国需要および復興需要に支えられ景気は底堅く推移。
 - ・ 11年度後半は、外需の減速は続くも復興需要に支えられ景気は底堅い動きが継続。
 - ・ 12年度前半は、復興需要に加え、新興国需要が回復することで景気は持ち直し。
- 米国経済: 雇用回復の遅れや財政支出削減が重石となり景気は低水準で横這い推移。
 - ・ 11年度後半は、外需の減速や雇用回復の遅れにより回復は緩慢。
 - ・ 12年度前半は、外需持ち直すも財政支出削減が阻害要因となり、景気は低水準で横這い。
- 欧州経済: 緊縮財政および金融機関の信用収縮により内需が低迷し、景気は軟調推移。
 - ・ 11年度後半は、外需鈍化に加え、債務問題の悪化による内需低迷で景気は減速。
 - ・ 12年度前半は、新興国需要が下支えとなるも緊縮財政と信用収縮により景気は低迷。



<債券相場の見通し>

- 国内債券: 復興需要の示現により緩やかな景気回復が続き、金利は小幅上昇。
 - ・ 11年度後半は、グローバル景況感鈍化も復興需要による景気持ち直しで金利は小幅上昇。
 - ・ 12年度前半は、復興需要を背景に緩やかな景気回復が続く中、金利は緩やかに上昇。
- 欧米債券: 欧米景気の低迷およびデスインフレ環境を背景に金利は小幅低下。
 - ・ 11年度後半は、景況感鈍化や欧州債務問題に伴うリスク回避を背景に金利は小幅低下。
 - ・ 12年度前半は、欧米景気低迷や金融緩和継続、デスインフレを背景に金利は小幅低下。

出所: Datastream より三菱 UFJ 信託銀行作成



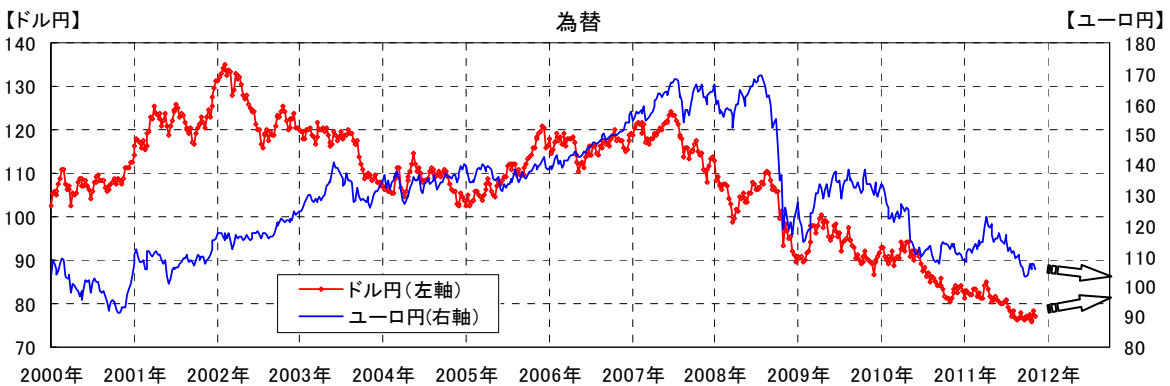
<株式相場の見通し>

○国内株式：新興国景気の持ち直しや震災復興需要から、株価は緩やかに上昇。

- ・ 11年度後半は復興需要や新興国引締めスタンス緩和で景況感が持ち直し、緩やかに上昇。
- ・ 12年度前半は13年以降の財政支出削減による米景気減速を織り込み、上値の重い展開。

○欧米株式：新興国景気持ち直しで業績改善も投資家の慎重姿勢から上値の重い展開。

- ・ 11年度後半は米国政策期待や新興国引締め一巡で市場の懸念が緩和し、底堅く推移。
- ・ 12年度前半は金融緩和環境が続くため下値は限定的も、財政効果剥落で株価伸び悩み。



<為替相場の見通し>

○ドル円：景気対策や追加金融緩和で米景気失速懸念が和らぎ、ドル円小幅上昇。

- ・ 11年度後半は、米国政策期待高まるも欧州債務問題が重石となり上値の重い展開。
- ・ 12年度前半は、景気対策や追加金融緩和で米景気失速懸念が和らぎ、小幅上昇。

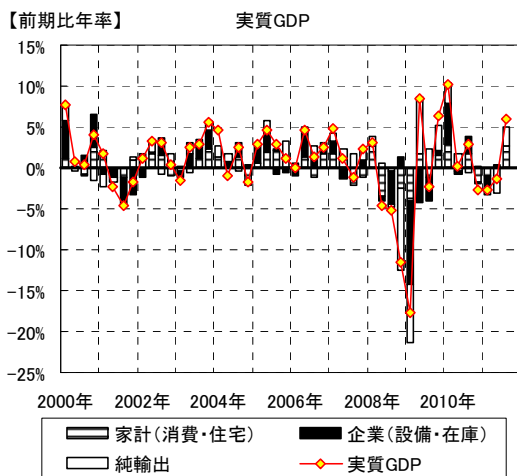
○ユーロ円：欧州債務問題やグローバル景況感鈍化が重石となり、ユーロ円は軟調推移。

- ・ 11年度後半はグローバル景況感鈍化、欧州債務問題に伴うリスク回避で下落。
- ・ 12年度前半は緊縮財政および信用収縮により欧州景況感が低迷し、軟調推移。

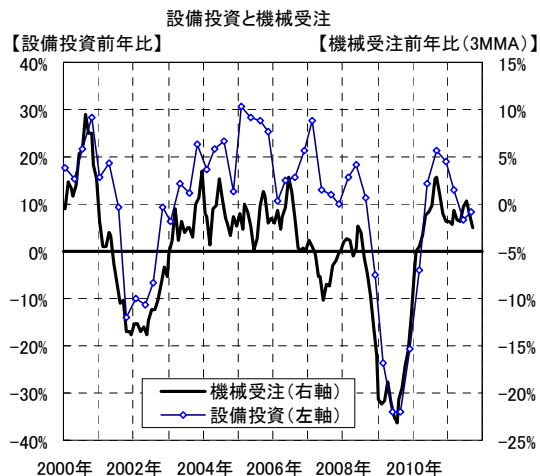
☆ Monthly Economics は、11月11日発表までのデータを元に作成しています。

出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

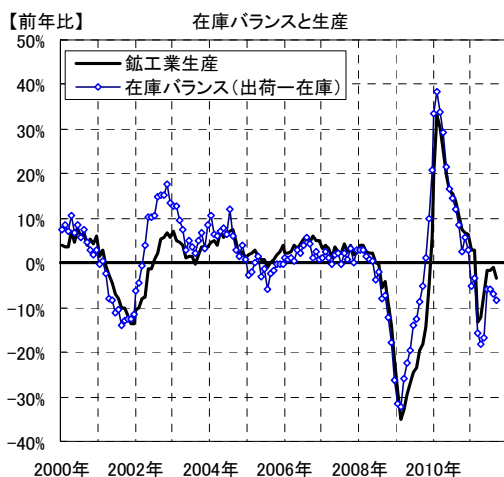
○全体:震災の反動で急回復



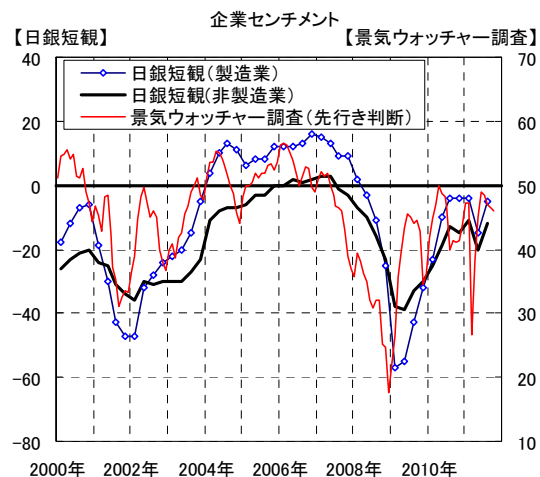
○設備投資:設備投資の伸び率鈍化一服



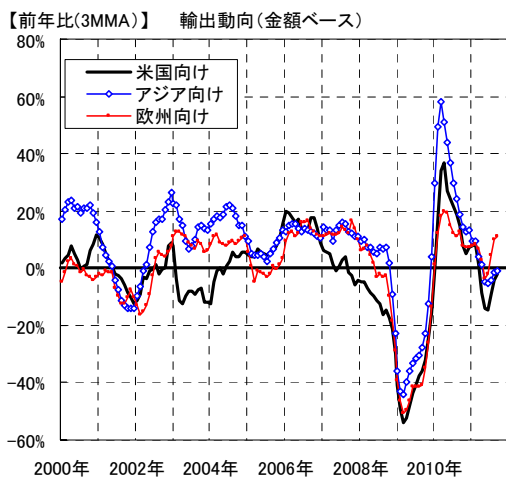
○生産:震災による急落後の回復一服



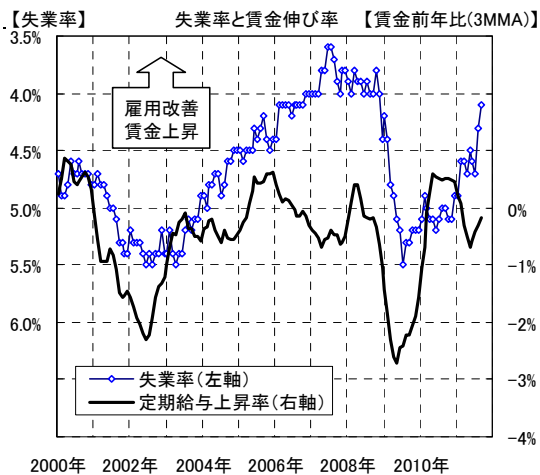
○生産:企業景況感の持ち直し一服



○輸出:全地域向けで持ち直し一服

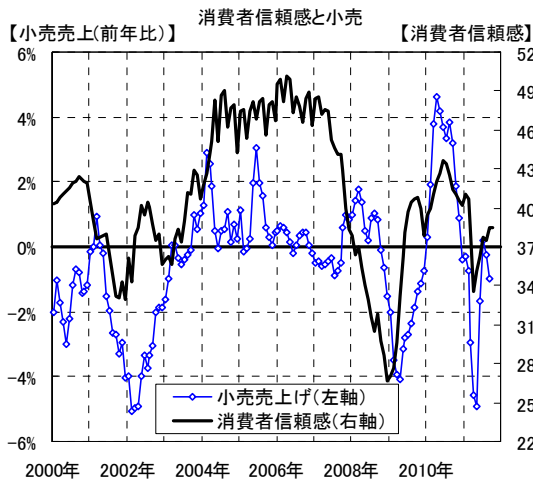


○雇用:失業率低下、賃金の上昇ペース緩和

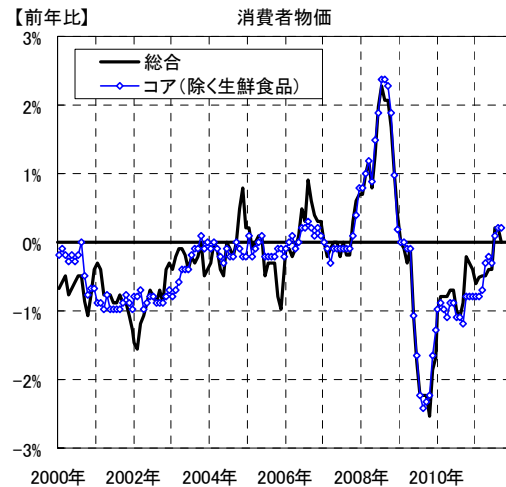


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

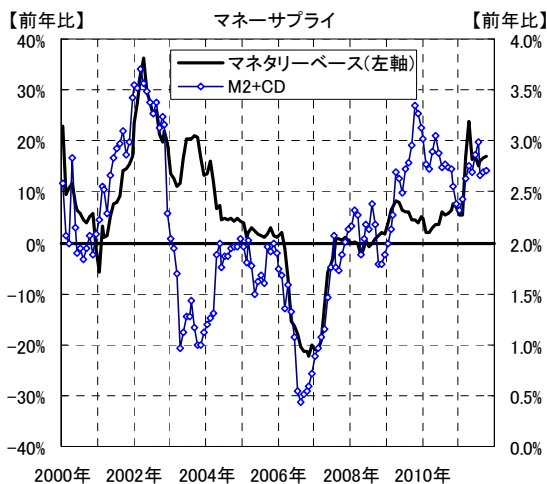
○消費：信頼感持ち直すも消費は足元減速



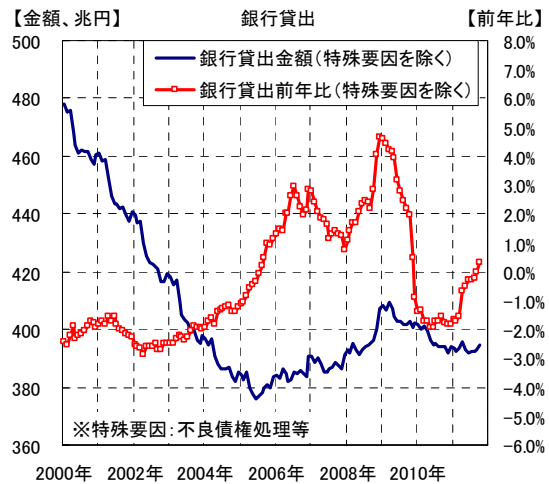
○物価：物価の伸び率は引き続き低水準



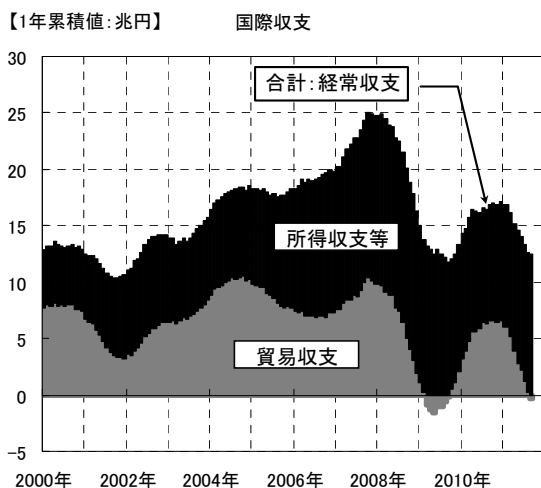
○金融：日銀による金融緩和継続



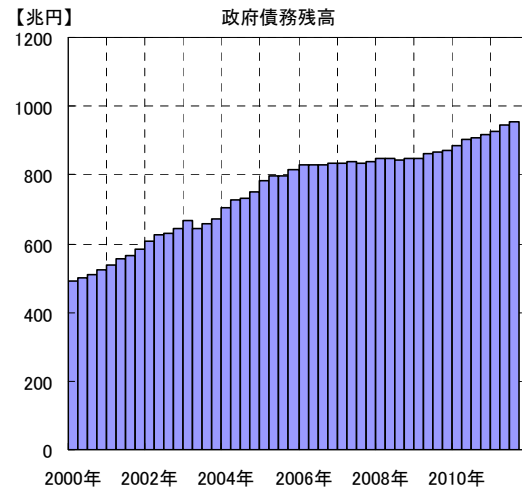
○金融：銀行貸出伸び率、小幅プラスに転じる



○国際収支：外需減速で経常黒字縮小

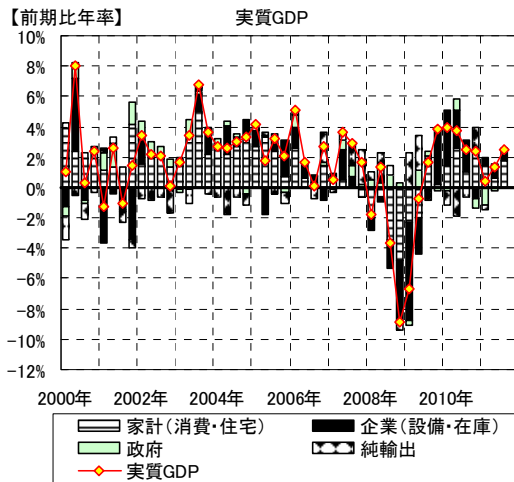


○財政：財政赤字拡大継続

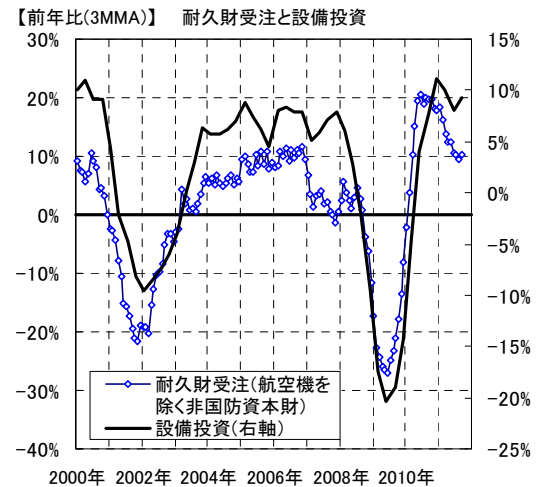


出所：Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

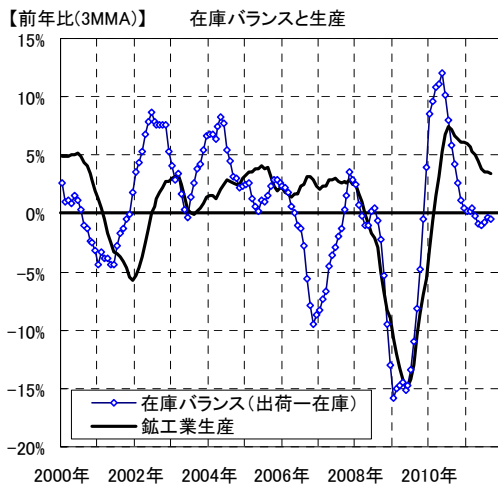
○全体:民間需要が牽引し、持ち直し継続



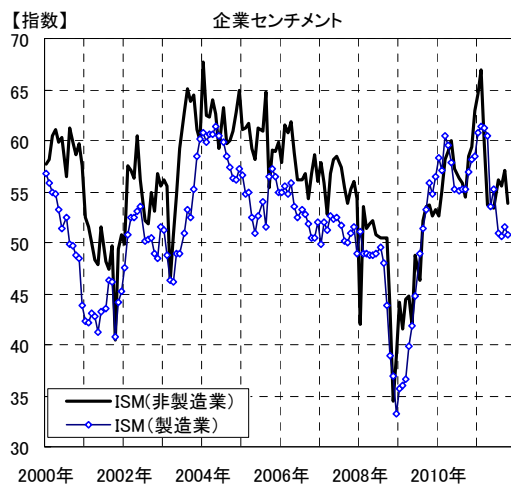
○設備投資:設備投資伸び率上昇



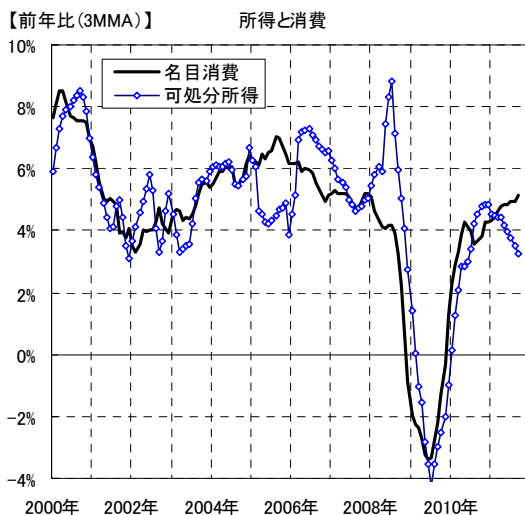
○生産:生産鈍化、在庫調整継続



○生産:企業の景況感は足元調整



○個人消費:所得伸び率鈍化も消費は回復

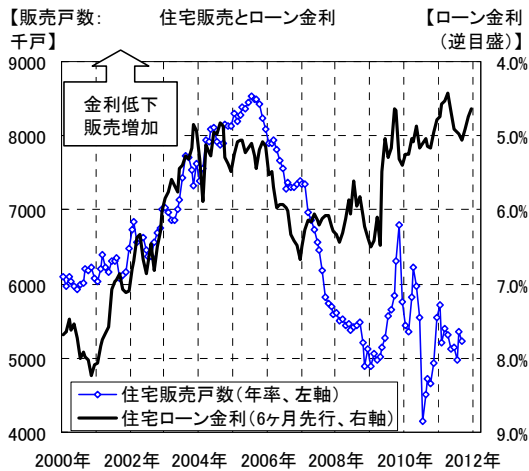


○雇用:失業率高止まりで賃金伸び率大幅鈍化

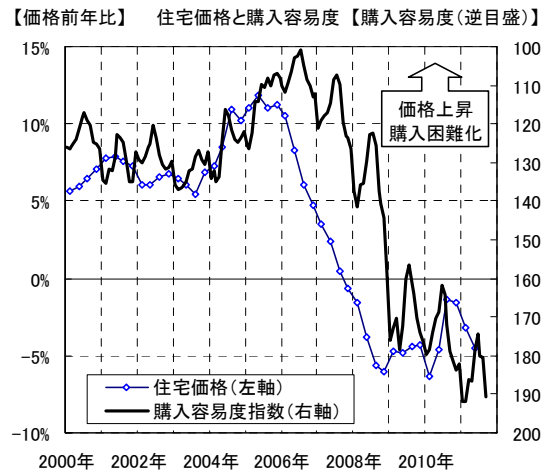


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

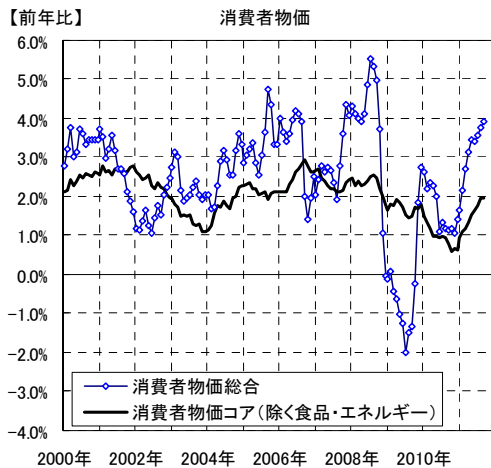
○住宅:低金利環境も住宅販売は低調



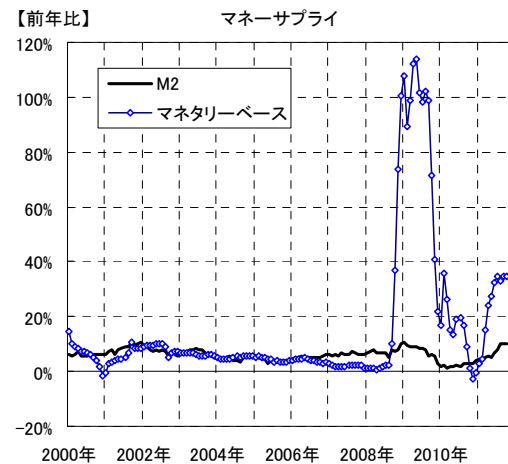
○住宅:住宅価格の低迷継続



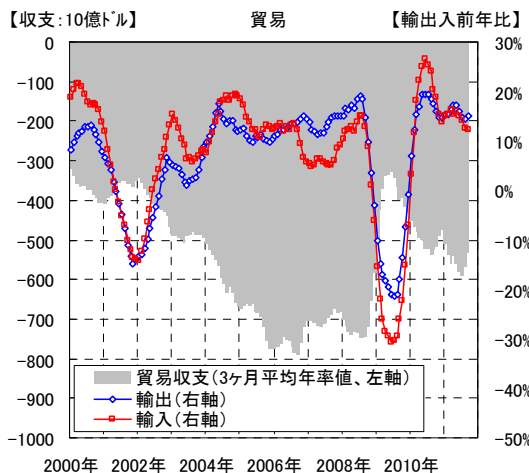
○物価:総合、コア共にじり高



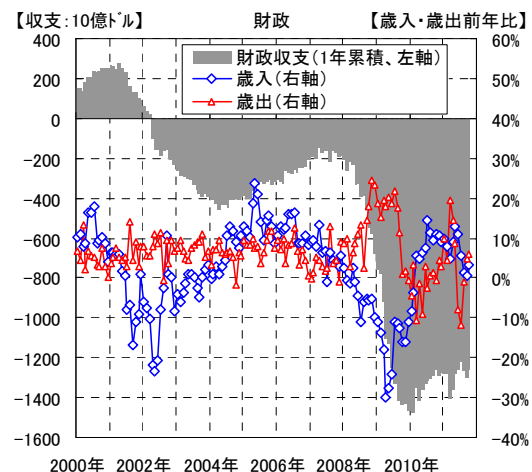
○金融:流動性供給は潤沢も貸出は低迷



○貿易:貿易赤字是正の動き見られず

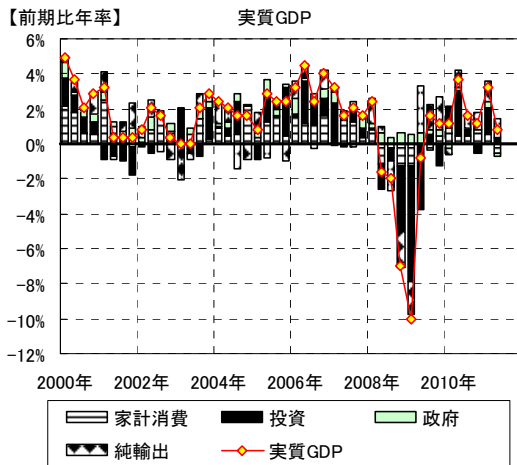


○財政:財政収支の改善一巡

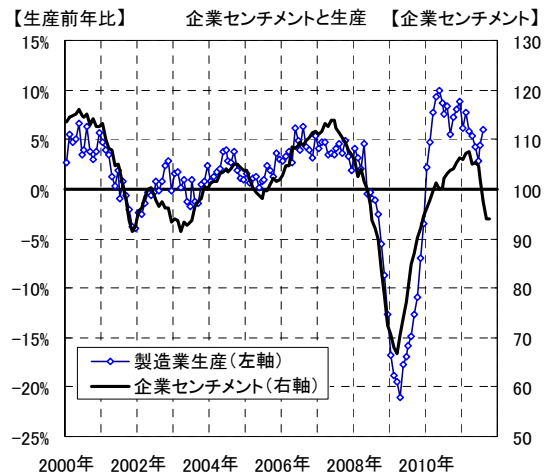


出所:Datastream より三菱 UFJ 信託銀行作成

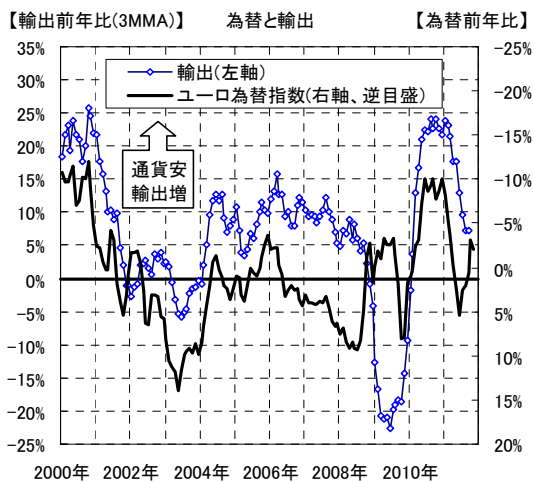
○全体:消費・輸出減速で伸び率鈍化



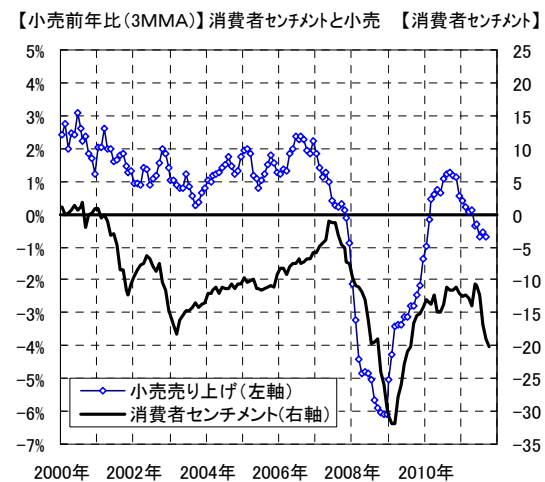
○生産:センチメント低迷も生産伸び率鈍化一服



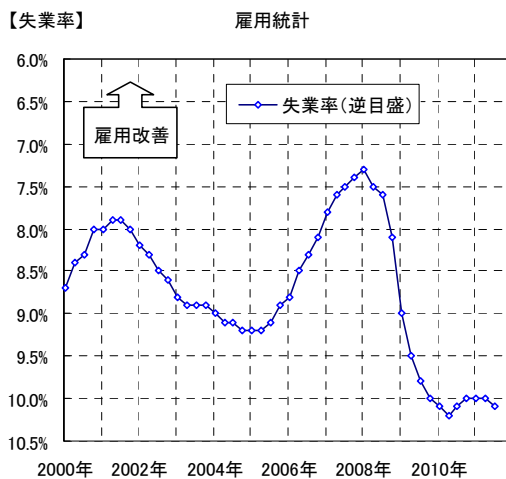
○輸出:ユーロ安進行も輸出伸び率鈍化継続



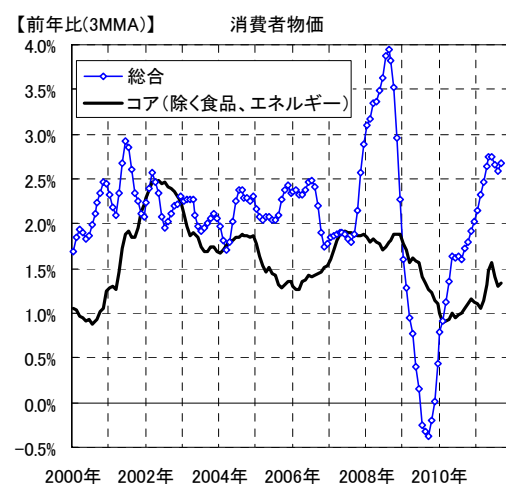
○消費:消費者センチメント悪化で消費低迷



○雇用:失業率は高止まり

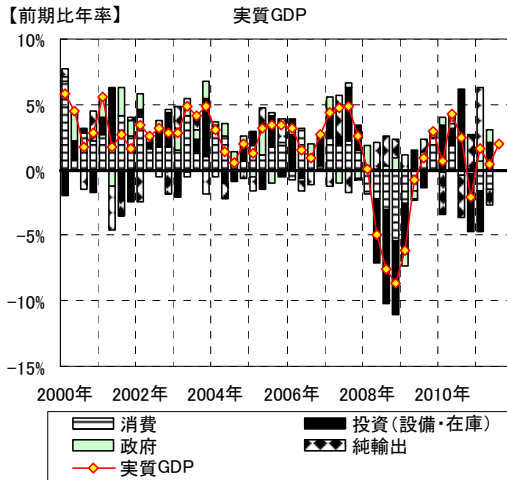


○物価:総合、コア物価ともに上昇一服

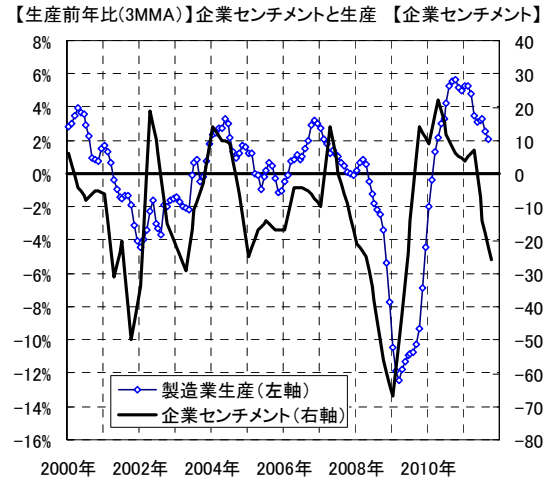


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

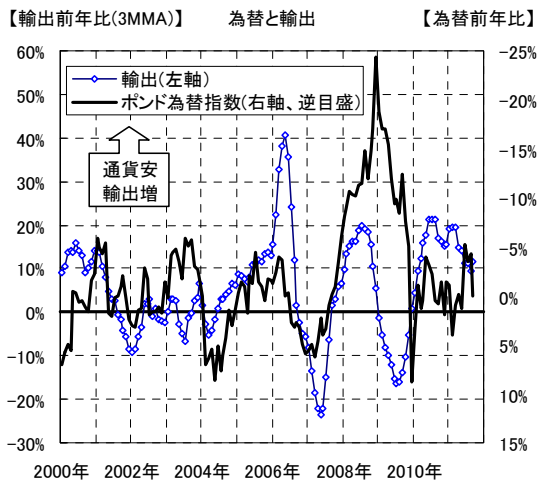
○全体:景気は足元持ち直しの動き



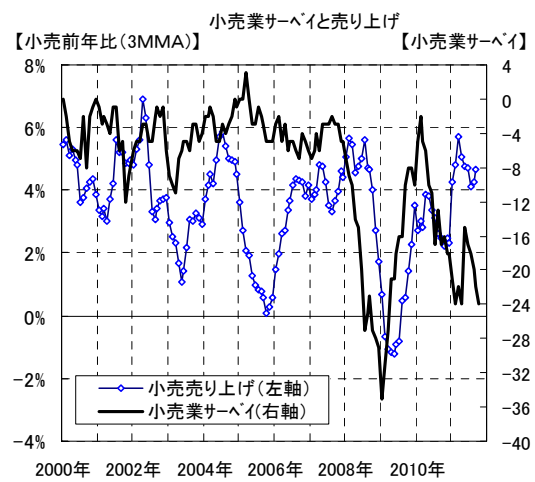
○生産:センチメント悪化で生産鈍化



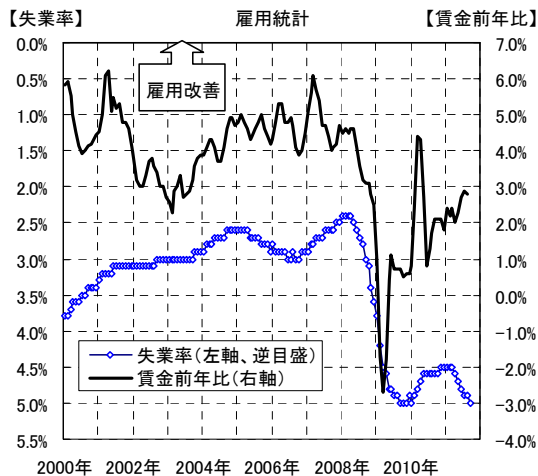
○輸出:外需減速で輸出伸び率は鈍化



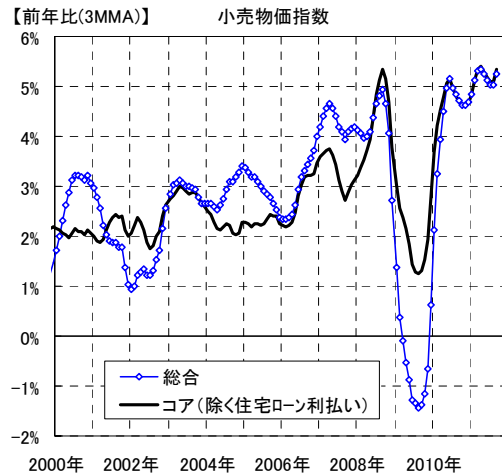
○消費:消費の拡大モメンタムは鈍化



○雇用:失業率は高止まりも賃金拡大

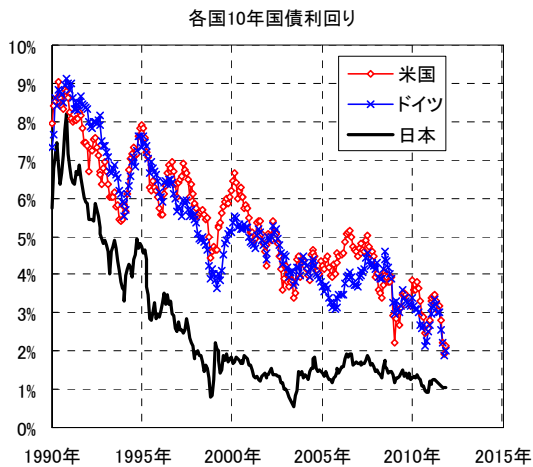


○物価:総合、コア物価共に足元反発

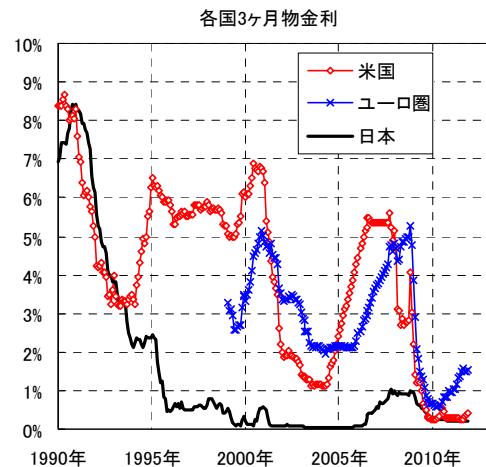


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

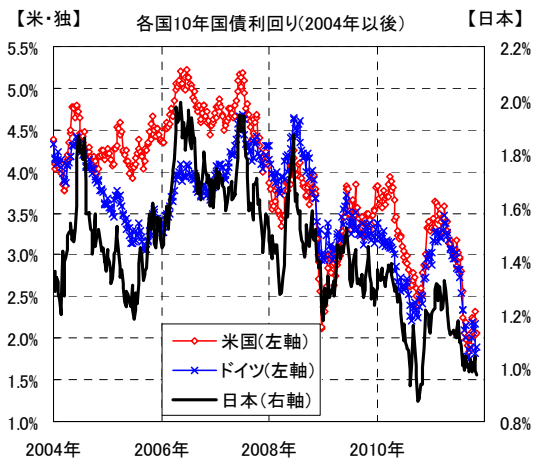
○ 長期金利: 欧米金利、歴史的低水準



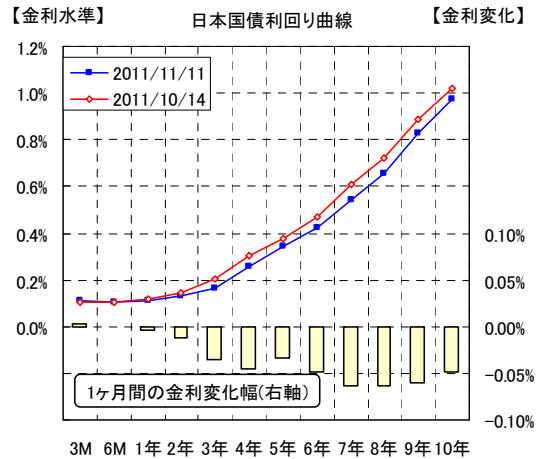
○ 短期金利: 日・米低水準で推移



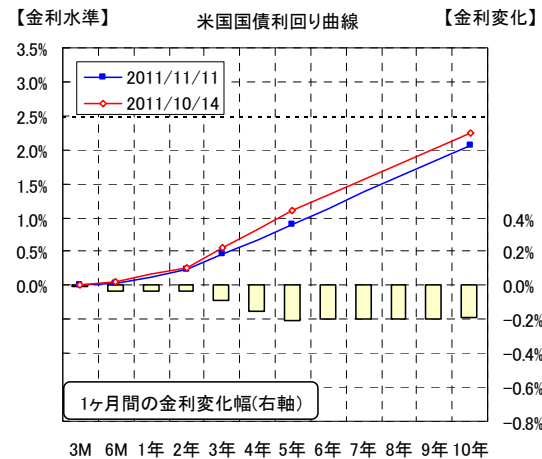
○ 長期金利(2004年以降): 低水準もみ合い



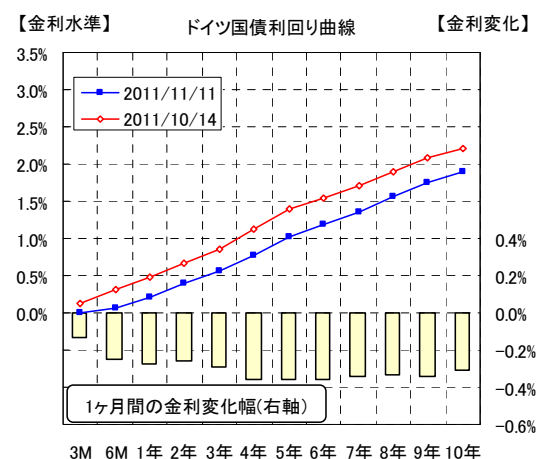
○ イールドカーブ(日本): 中長期主導で低下



○ イールドカーブ(米国): 中長期主導で低下

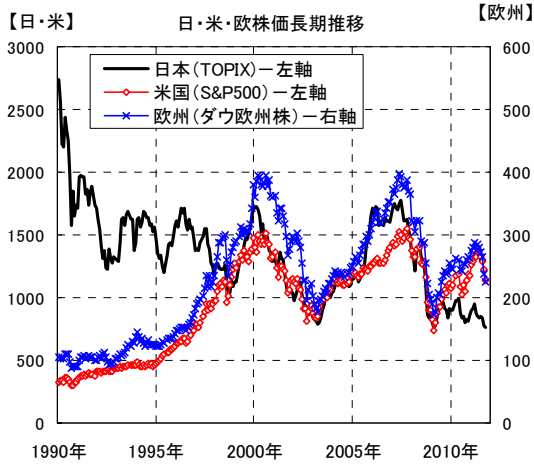


○ イールドカーブ(ドイツ): 全年限で低下

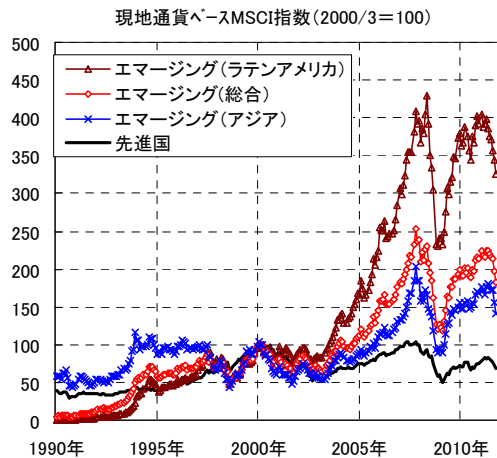


出所: Datastream、Bloomberg より三菱UFJ信託銀行作成

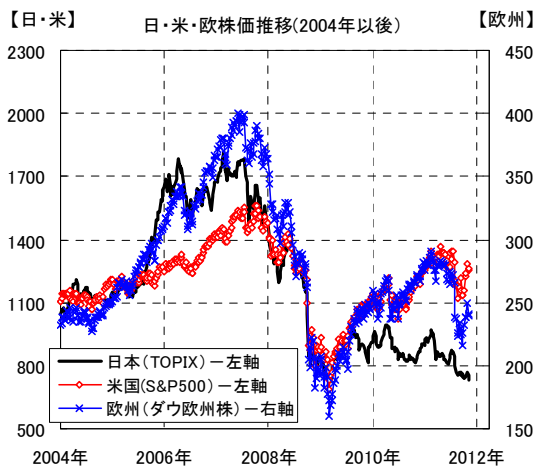
○ 3 極株価(長期): 日本株、震災後の安値更新



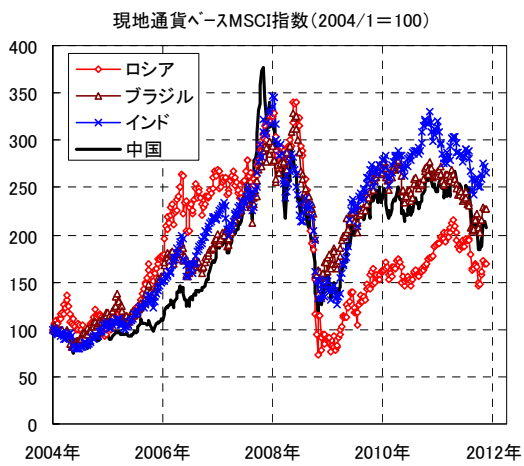
○ EM 株価(長期): 高値もみ合い後、反落



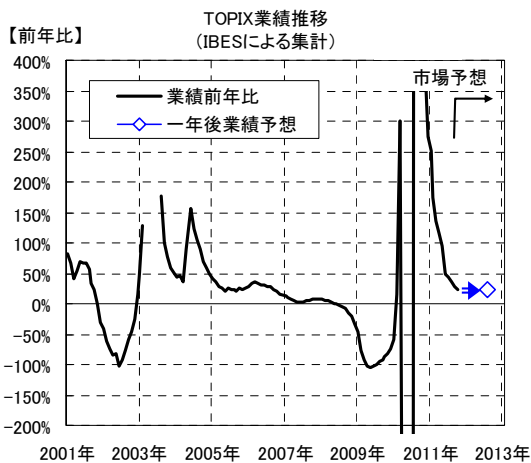
○ 3 極株価(2004 年以降): 米欧反発後、調整



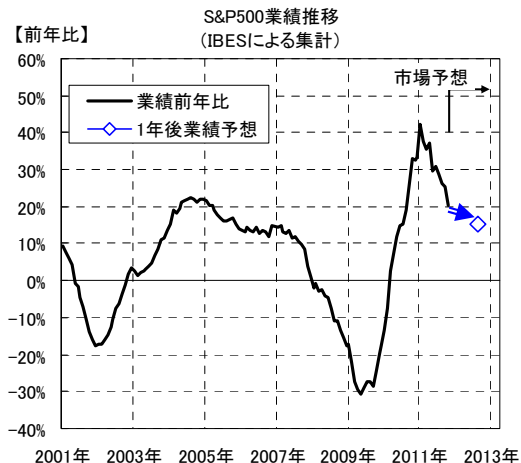
○ BRICs 株価(2004 年以降): 反発後、調整



○ 業績(日本): 増益見通しも伸び率鈍化

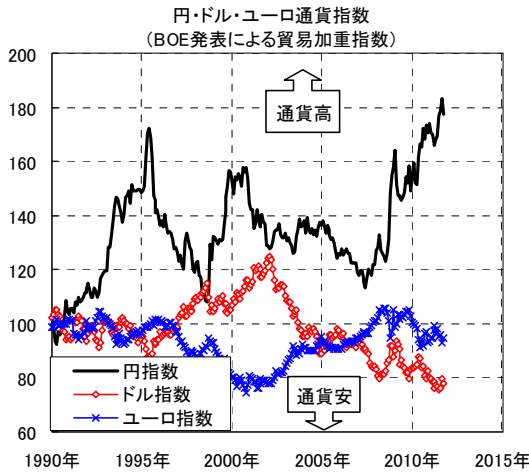


○ 業績(米国): 増益見通しも伸び率鈍化

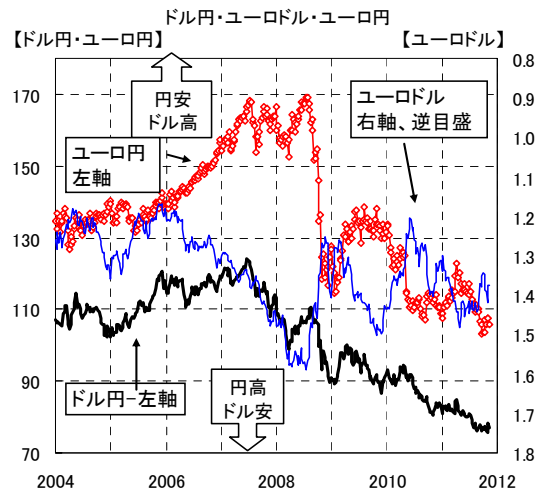


出所: Datastream、Bloomberg より三菱 UFJ 信託銀行作成

○ 3 極通貨(90 年以後): 円最高値、ドル最安値



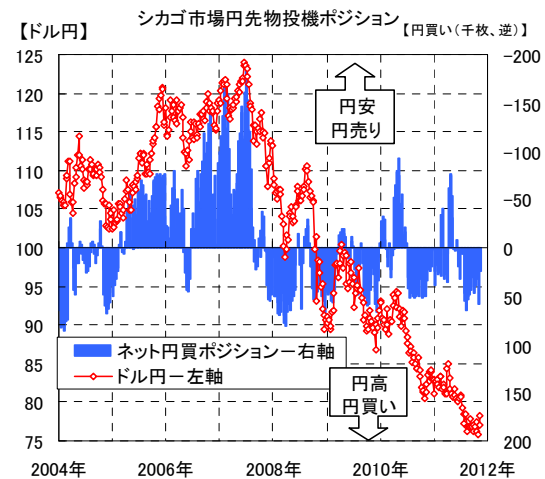
○ 3 極通貨(04 年以降): 足元ユーロ調整



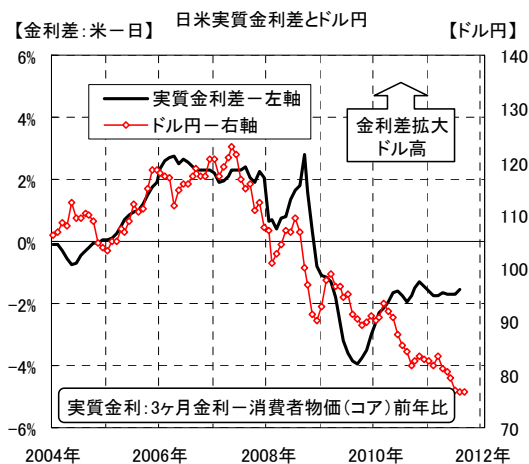
○ ドル円(1970 年以後): 円じり高の展開



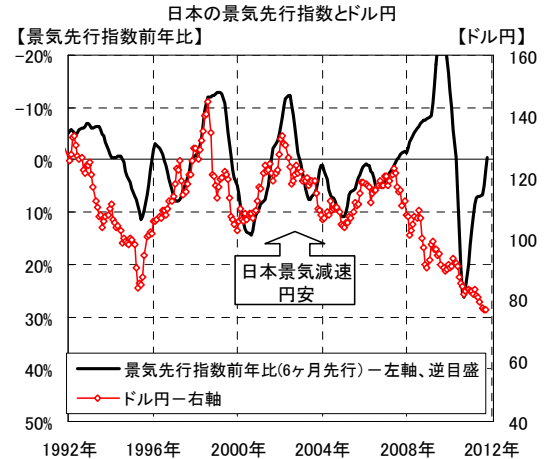
○ 投機ポジション: 円買いポジション高止まり



○ 金利差とドル円: 実質金利差との乖離拡大

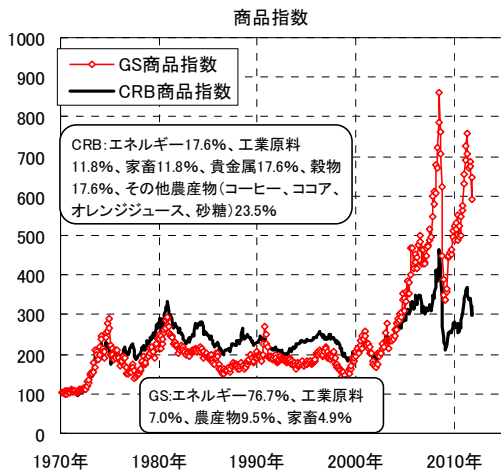


○ 国内景気とドル円: 景気との乖離拡大



出所: Datastream、Bloomberg より三菱 UFJ 信託銀行作成

○商品指数



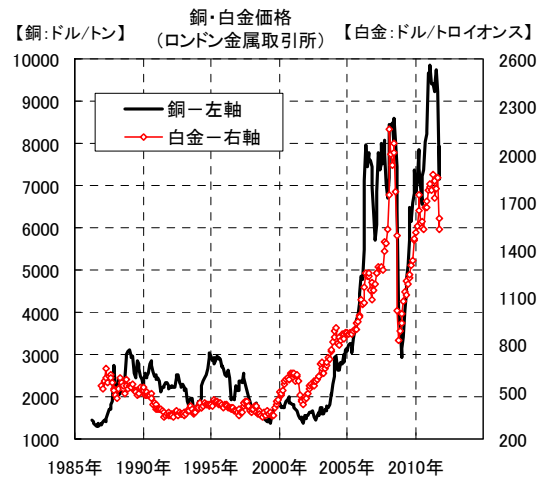
○原油価格



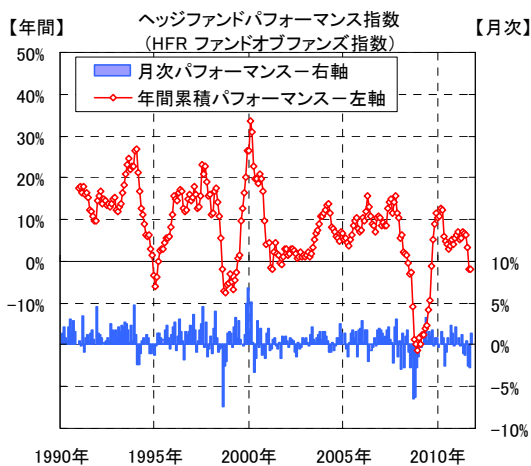
○金価格



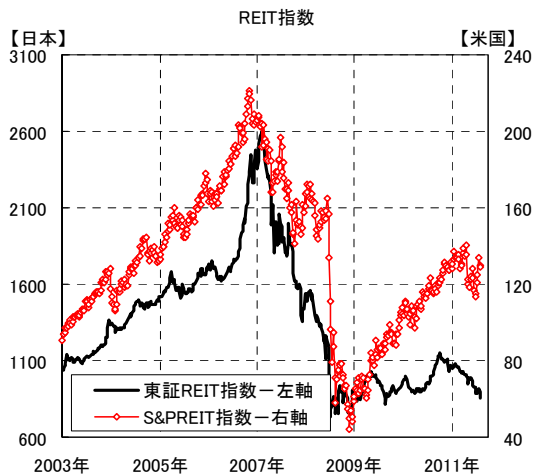
○銅・白金先物



○ヘッジファンド指数



○REIT指数



出所: Bloomberg より三菱 UFJ 信託銀行作成

本資料について

- 本資料は、お客さまに対する情報提供のみを目的としたものであり、弊社が特定の有価証券・取引や運用商品を推奨するものではありません。
- ここに記載されているデータ、意見等は弊社が公に入手可能な情報に基づき作成したのですが、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性を保証するものではなく、また、当該データ、意見等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。
- 本資料に記載している見解等は本資料作成時における判断であり、経済環境の変化や相場変動、制度や税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがありますので、予めご了承下さい。
- 弊社はいかなる場合においても、本資料を提供した投資家ならびに直接間接を問わず本資料を当該投資家から受け取った第三者に対し、あらゆる直接的、特別な、または間接的な損害等について、賠償責任を負うものではなく、投資家の弊社に対する損害賠償請求権は明示的に放棄されていることを前提とします。
- 本資料の著作権は三菱 UFJ 信託銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料で紹介・引用している金融商品等につき弊社にてご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には相場変動等による損失を生じる恐れや解約に制限がある場合があります。なお、商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料をよくお読み下さい。

編集発行：三菱UFJ信託銀行株式会社 投資企画部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 Tel.03-3212-1211（代表）